

### 財務省運営力欠如の麻生大臣、調整機能欠如の菅長官の辞任は必至

#### ◆首相秘書官と加計は面会していた

国家戦略特区事務局である藤原元次長と柳瀬首相秘書官が、愛媛県や今治市と2015年4月2日に面会した愛媛県の備忘録が農水省から見つかったことに続き、更なる事実が判明しました。同年4月2日の朝に、内閣府が加計学園関係者と愛媛県と今治市職員に面会したことを文科省に報告したメールが文科省から見つかったのです。そのメールには「本日15時から柳瀬総理秘書官とも面会するようです」と書いてありました。

このことは4月17日朝にNHKで報道されて文科省が調査を開始し、17日夜にはメールが見つかっていました。ところが、「調査中」であるとして国会審議を進め、ようやく20日になってそのことを公表しました。18日と19日の審議はまったくムダになってしまったのです。1年をかけて否定してきたことが次々と覆われています。これは国会審議の妨害であり冒涇であり、このまま法案審議を続けることはできません。

#### ◆財務官僚トップのセクハラ発言放置

女性記者へのセクハラ発言が報道された財務官僚トップの福田事務次官は、今日の閣議で辞任が了承されました。

麻生財務大臣は、この間、「本当ならアウトだ」と言いながら、事務次官の部下である矢野官房長にヒアリングを行わせました。セクハラの実を否定したと発表したのです。一方、加害者である女性記者に向けては、財務省の顧問弁護士の調査に協力するようにと記者クラブに要請する高圧的なやり方を取りました。

そして、セクハラ被害を受けた女性記者の所属するテレビ朝日から抗議が届くと、「もう少し大きな字で書いてもらった方が見やすい」と茶化して終わりました。

野党6党による合同ヒアリングでは、声紋鑑定をして事実を明らかにすべきだと求められましたが、現在に至るまで行われていません。セクハラを認定することも処分することもせず、辞任を閣議で了承したことによって、福田事務次官は5千万円を超える退職金を手にすることになります。これでは政治や行政の信頼を取り戻すことはできません。

#### ◆法案審議の大前提は全容解明

各省で起きる問題のさまざまな対応に對して、総合調整の機能を持っているのは内閣官房トップの菅官房長官。

4月18日の内閣委員会で、その機能の発揮を求めると、菅官房長官は「それぞれの役所には大臣がおります。大臣が責任を持って今回も調査をしていただいたわけでありませう」とまるで他人ごと。疑惑の全容解明は、法案審議の大前提。野党はまっとうな対応を政府・与党に求めています。



衆議院議員あべともこ  
プロフィール

神奈川県 12 区（藤沢市・寒川町）  
当選 7 回、東京大学医学部卒業、  
小児科医、あべともこどもクリニック（湘南台）理事長  
現在、内閣委員会筆頭理事・予算  
委員会委員



あべともこ  
公式Twitter  
@abe\_tomoko

[https://twitter.com/abe\\_tomoko](https://twitter.com/abe_tomoko)



あべともこ事務所  
公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索

あべともこと共に歩む会後援会入会のご案内及びボランティアスタッフ募集中!

特定の企業や団体などに依存しないあべともこの活動は、後援会の年会費やカンパによって支えられています。あべともこの活動にご支援頂ける方は、お気軽に事務所にお問い合わせください。

立憲民主党神奈川県連

〒231-0012

横浜市中区相生町 4-69-4F

TEL 045-228-8591

FAX 045-228-8592



4月18日内閣委員会で質問